

# 『2024年度 レフェリーの目標と9人制の重点指導項目』

JVA大会運営事業本部 審判規則委員会 指導部

## 1 目標

- (1) 競技規則の精神を理解し、論理的・実践的な知識を習得する。
- (2) 正しい判定をするための眼を養い、そのための基本的な動きや位置取りを研究し、審判技術の向上に努める。
- (3) 多くの経験を通して、強いメンタルと人間性の醸成に努め、よりよいゲームマネジメントに繋げる。

## 2 重点指導項目

### 【主 審】

- (1) 最終判定について
  - ・ラリー完了の吹笛をしたときは、自らの判定を頭に置き、副審・線審を確認して、責任を持って説明ができるよう、最終判定を行う。
- (2) ハンドリング基準について
  - ・講習会等へ積極的に参加し、すべての審判員がハンドリング基準の統一を図る。
- (3) ブロッカーのボールタッチについて
  - ・複数のブロッカーの場合、どの選手にボールが接触したかを確実に判定する。
- (4) ネット上のボールへの接触について
  - ・相対する選手がネット上でボールに接触した場合、その接触に時間差がないか、しっかりと見極める。
- (5) サービス許可の吹笛のタイミングについて
  - ・ラリー終了から次のサービス許可の吹笛までの間に、確認すべきことをルーティン化する。

### 【副 審】

- (1) ワンタッチの補佐について
  - ・主審が補佐を求めた場合、シグナルを出す。
- (2) 中断の要求について
  - ・選手交代およびセット間の選手交代は、記録員とともに組み合わせを確認する。
  - ・タイムアウト終了後に、選手をコートに戻るように促す。戻るのが遅れている場合は、早い段階で遅延の罰則を適用する。
- (3) タッチネットの判定について
  - ・アタックヒット後のアタッカーのタッチネットがあることを想定し、ネット付近に目を残す。

### 【記録員】

- (1) 選手交代の組み合わせの確認について
  - ・交代できる組み合わせかどうか慎重に確認する。
- (2) サービス順の誤りの処置について
  - ・速やかに処置ができるよう、正しい手順を確実に把握する。
- (3) 記録員としての心構えについて
  - ・審判団の一員として正しく試合を進めるよう任務を遂行する。